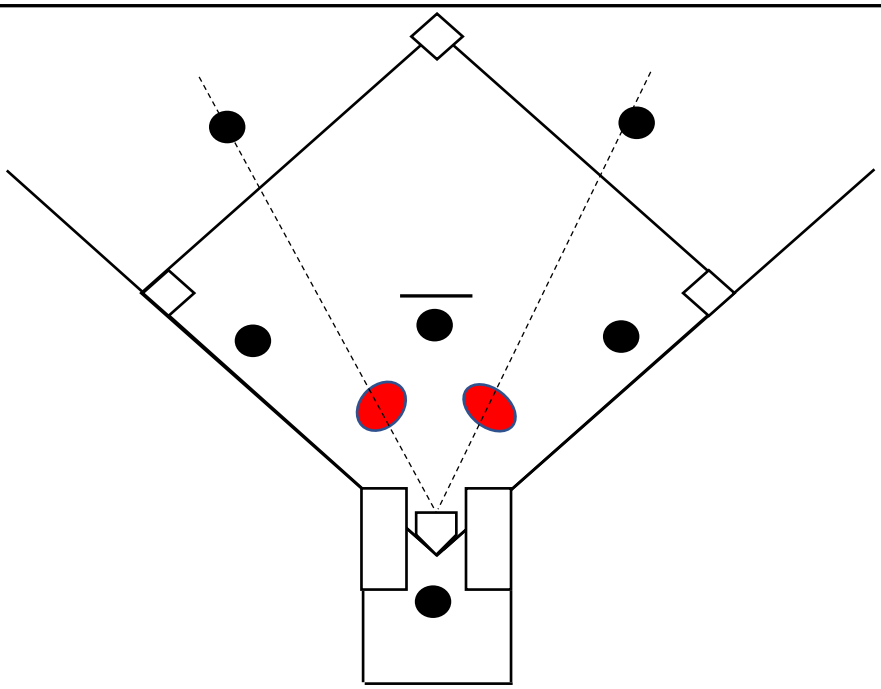
ワンポイントレッスン（技術編）		Ｎｏ．	1
タイトル	送りバント(基本編その１)	作成日	2019/5/22
		作成者	M.Komito

よくある失敗例　自分が生きようとして確実にバントしていない
（送りバントではなくセーフティーバントになっている）
ファースト又はサード際を狙った結果ファウルになる

狙う方向

図のような一般的な守備体制の場合、二塁手又は遊撃手方向を狙う（狙う方向は、進めたいランナーの位置、守備体制・守備能力により判断する）

一般的なグランドは、ファウルゾーンの方が低くなっているので、ライン際を狙うとファウルになり易い（試合前にファウルラインに沿ってボールを転がして確認するといい）



赤マークのゾーン辺りで投手に捕らせるのがベスト
（二塁に進塁させたい時、右投手なら三塁側、左投手なら一塁側がベター）